

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 46

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成25年9月18日<2013. 9. 18>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

ソーシャルワーカーデー研修会を開催しました！ in 茨城県総合福祉会館

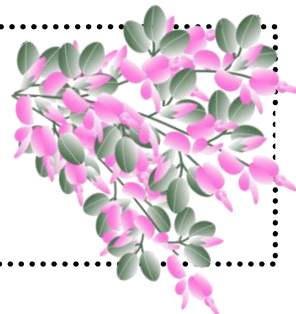
ご存知でしたでしょうか？「海の日（今年は7月15日）」はソーシャルワーカーデーでした。社会福祉関係の17団体が加盟するソーシャルケアサービス従事者研究協議会は、ソーシャルワーカーの社会的認知を高めるために2009年から「海の日」をわが国の「ソーシャルワーカーデー」として創設しました。今年度のテーマは「社会的・経済的平等の促進 ～ソーシャルワーカーの可能性と挑戦～」。

そこで茨城県社会福祉士会においても、ソーシャルワーカーデーに合わせて研修会を企画、「子どもの貧困について考える」と題してシンポジウムを開催いたしました。竹之内章代会長がコーディネーターを務め、社会福祉法人菅田会 菅田養徳園の片根志雄氏、水戸市役所保健福祉部子ども課相談係の川村隆氏、古河市役所健康福祉部福祉総務課地域福祉係の吉原徹氏の3名にシンポジニストをお願いしました。

それぞれの職場の役割、業務の視点から分かりやすくお話を頂くとともに、質疑応答では参加者から多くの質問が寄せられておりました。2時間半という短い時間ではありましたが、様々な気づきのあった方も多かったのではないのでしょうか。



- 目次、ソーシャルワーカーデー研修会を開催しました！・・・1
- 「少年の立ち直り支援のためにできること」を受講して・・・2
- 福祉関係者のための成年後見制度活用講座を振り返って・・・3
- 各ブロックからの活動報告（中央ブロック、県南ブロック）・・・4～5
- 各種お知らせ、編集後記・・・6



「少年の立ち直り支援のためにできること」を受講して



福祉作業所むつみ 鈴木 重史

今回の研修の中で、支援のために、どのような機関があり、連携が図られているのか？当事者への最善の利益を図るために、援助者としてどのような対応が期待されているのか？とても興味深く参加させていただいた。

一般に「少年事件」と呼ばれるものは、満 20 歳になっていない者が罪を犯した：犯罪少年、極めて罪を犯す可能性が高い：虞犯少年、14 歳未満の物が罪を犯した：触法少年に区分され、いずれも家庭裁判所にいったん送られ、そこから、少年鑑別所（行動観察を行う）、保護処分であれば、保護観察所、少年院、児童自立支援施設等へ送られることになる。

少年事件では、「少年の健全な育成（少年法第 1 条）、事件から立ち直るためにはどうしたらいいか」という点に主眼があり、通常の刑事裁判とは根本的に異なる。人格の形成期にある少年に刑罰を科しても本質的解決にはならないと考えられるからである。また、様々な手続きの中で、調査官との面接や、試験観察、少年の持つ問題点の明確化、被害者の視点を持たせる等の教育的措置が取られる。しかし、この流れの中で、弁護士が付添い人として適正な保護処分を受けるための協力者となるが、裁判官と同様、少年の育成という点からすれば実際に関われる期間はごくわずかである。そういう意味で、直接本人と関わる家裁調査官の仕事は難しく、大きな影響を持っており、可能な限り、その後の処遇経過を見守っていかねばならない。

水戸家裁では、調査・審判場面以外でも教育的措置を活用し、少年や保護者の気づき、更生のきっかけになることで、少年を含めた家族の重要な経験となり、少年の再非行の危険性を減じている。しかし、現代の少年の特質ともいえる「社会・生活体験の乏しさ」、「規範意識の低さ」、「現実感覚のなさ」などから教育的措置にも工夫が必要であり、累非行少年や発達上の問題が疑われる少年の処遇、保護者に対する措置などの課題も出てきている。これは、受入側である自立援助ホームなどでも同様であり、ホームで対応するのは難しいと思われるケースの受け入れ要請もあるという事である。

今回の研修では、受入側の方もパネラーとしていらしており、少年への対応、支援の仕方などを聞かせていただいた。その中で、福祉に携わる専門の職員として、児童・障がい・高齢・貧困等に関わらず、人の本質と関わっていく職業として共通したもの（うまく表現できないが）を感じた。それは人としての愛情にも思えたが、その形は決まっている訳でもなく、関わり合い？愛情？という言葉に片付けられるようなものでもなかった。

あくまで個人的な意見であるが、どの機関も、少年の健全な育成と立ち直り支援という「保護主義」を理念とした同じスタンスを取っており、それぞれの機関が専門職であるがゆえに当然職域の問題もあるが、連携という面では少しずつ繋がってきているようにも感じられたが、まだまだであるとも感じた。各専門職の機関に入り込み、それぞれを繋げ、うまく連携していけるようにしていくことが、我々社会福祉士としての使命なのかもしれない。



福祉関係者のための成年後見制度活用講座を振り返って



県北ブロック 鈴木弘昭

今回 2 日間講座を受講させていただきました。始めに感じさせていただいたのは、定員があるとはいえ、席が満席になる程講座に参加されていて、「成年後見」に関する関心の高さが伺えました。

私自身「成年後見」と言う言葉は知っていても、実践の経験がない為、今回の講座に興味深いものがありました。特に興味があったのは、福祉の現場でどう生かされているか？という事でした。また、自分にできるかどうかの不安の気持ちもありましたが、2 日間の講義で「成年後見」を前向きにとらえ、自分もやってみたいという意欲が高まりました。

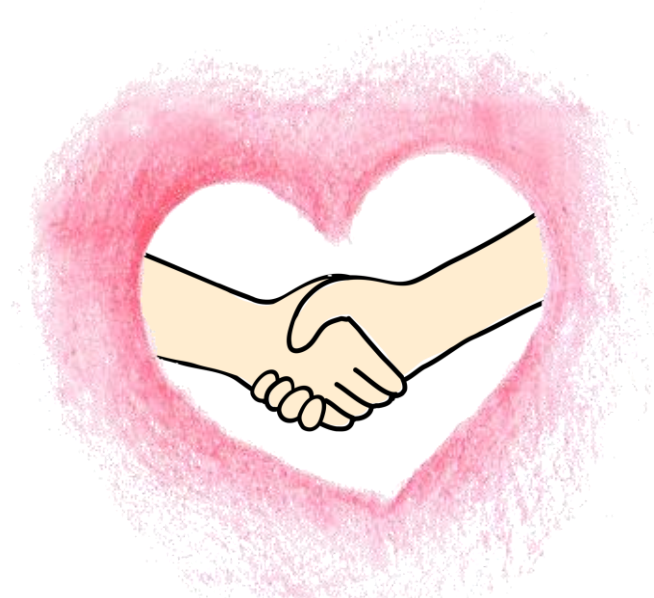
講義を聞く事で基礎から教えていただきました。困っておられる方が平等に福祉サービスを受けられるように、少しでも自己研鑽しながら力になりたいと思うようになりました。

成年後見の理念である「持っている能力の最大限の活用」「自己決定の尊重」「ノーマライゼーション」を再認識し、実行して行くうえで忘れてはならない事である事を自分に戒めました。

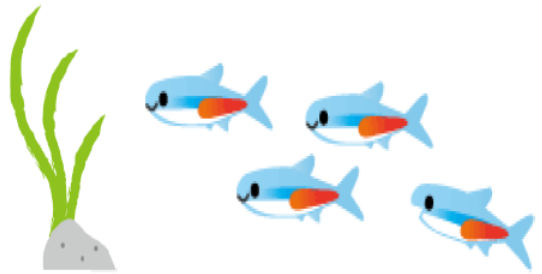
水戸家庭裁判所の間野さんをはじめとして、社会福祉協議会の大類さん、弁護士の小沼さん、リーガルサポートの澤邊さんの実際にいろんな形で取り組んでいる方の話を聞く事で成年後見の現在の状況や成年後見を始める手続きする方法等を知ることができました。それと同時に自分自身の自己研鑽の必要性も感じました。現場で実際に携わっている方話を聞く事でとても参考になるものがあり、携わっている方の熱意も感じられました。

成年後見に対しての不安も難しさも感じましたが、今回活用講座の講義を受けて良かったです。「成年後見」を理解する事ができました。

私事ですが、今後自己研鑽しながら、成年後見に取り組みたいと考えています。取り組む事で社会に「社会福祉士としての仕事」が理解してもらえるように頑張りたいと思います。また、自分の社会福祉士としての自信に繋がりたいと思います。まだまだ未熟な私ですが、今後のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



県央ブロックだより



こんにちは。皆さまいかがお過ごしでしょうか。県央ブロックは夏の暑さに負けないくらい熱い！ブロックです。昨年からは弁護士の方々と一緒に活動する機会が増え、児童虐待や非行問題に目を向けた研修会を開催してきました。他の専門職とつながることでお互いの良さを出し合い、力を高めていくことができると実感しています。これからも司法と福祉のコラボは続きます。ぜひ、お楽しみに！！そして多くの方のご参加をお待ちしています。また、2ヶ月に1回は定例会も設けています。まだ県央ブロック活動に参加されたことのない皆さま方も、一緒に活動に参加してみませんか。申し込みは要りませんので気軽にお越しくださいね。



●○福祉現場は福祉ニーズが一杯○●

NPO 法人 茨城県あすなろの郷育成会、県央ブロック長 檜山信雄

私は毎日多忙な日々を送っています。今の仕事は週3日勤務ですが、毎日出勤している有様です。言うなれば有償ボランティアです。現職の時より業務が多く責任が大きいのですが、仕事が形になるのが楽しく、今日も頑張っています。

福祉の現場は、福祉ニーズが一杯と言っている。私の職場はNPO法人茨城県あすなろの郷育成会、会員は473名の団体です

当団体は、茨城県立コロニーあすなろ（現 茨城県立あすなろの郷）が昭和48年12月の開設に伴って、親の会として設立され、今年で40周年を迎えます。この間に、会員（保護者）の高齢化が進み、当育成会の喫緊の課題は「親亡き後」の対応です。

各育成会大会の研修会には、必ず「親亡き後」のテーマがありますが、出席者の親（保護者）には納得できる糸口が見いだせないようです。

第三者後見人の説明や活用等の話が多く、子を思う親の気持ちには触れていないようです。

親の心は深く、重いものがあります。世間では「親亡き後」は子どもへ引き継ぐか親族に引き継がれると思われるかもしれませんが現在の少子高齢化や社会状況の変化に伴い、なかなか難しい問題が横たわっているようです。

多くの親が後見人に望むことは、定期的な面会としっかりコミュニケーションを取ってほしいこと、そして、子どものニーズに耳を傾け、そのことを職員に伝えて欲しいこと、また健康管理や日常生活を把握して見守って欲しいこと等が、保護者からの聞かれる思いです。すなわち身上監護を重視しているのです。

今、当育成会では、この親の思いを形にすべく、前向きに検討しています。

その一環として、ここ数年福祉講座を開催しています。この講座は茨城県社会福祉士の協力を頂いております。

今年度は、弁護士の協力のもとに、「司法と福祉」の観点から福祉講座を予定しています。

親の思いに耳を傾けますと様々な福祉ニーズがあります。それらのひとつひとつに向き合い形にしていくことは現職時代には考えられなかった山あり谷ありの連続で、厳しい現実の連続です。それらを乗り越えた時の充実感を感じます。

平坦な道を歩くのも人生、凹凸道を歩くのも人生。福祉の道はこの凹凸道にあります。

福祉のプロフェッショナルの社会福祉士は福祉ニーズに応えるのが使命かと思うのです。

◆研修会のお知らせ◆

平成25年冬ごろに司法と福祉をテーマにした研修会を検討しています。

詳しい事が決まりましたら茨城県社会福祉士会ホームページでお知らせしますのでご確認ください。どうぞ宜しくお願い致します。

◆定例会のお知らせ◆

■平成25年10月18日（金）

12月20日（金）

平成26年 2月21日（金）

■ 19:00 ~

■場 所：サイゼリヤ 笠原店

■TEL：029（305）5721

*事前の申し込みは不要ですよ～♪



県南ブロック活動報告

ホームページ ⇒ <http://ibanancsw.hp2.jp>

県南ブロックの活動も 5 年目に入りました。今年度も研修会や懇親会など様々な企画をしていきたいと考えています。一緒に作っていきませんか？皆さんの参加をお待ちしています！仲間を作ると困った時に相談できるし心強いですよ!!

DVD 勉強会を行いました！

6 月 15 日の県南ブロック会議に合わせて DVD「面接への招待 核心をはずさない相談援助面接の技法」使用しての研修会を実施しました。

今回は上記 DVD の第 1 部を視聴しました。途中で適宜一次停止をしては面接のポイント等を参加者同士が自身の体験談等を踏まえつつ確認しながら進めていきました。

この DVD の中では面接技法の基本的な部分が実際の面接風景を踏まえながら、分かりやすく表現・解説されており、基礎からの学びにも、普段の利用者様との関わりの振り返りにもピッタリな内容だと感じました。参加者からも改めて大切な部分を認識できたとの声がきかれていました。今後、DVD の第 2 部を使用しての研修会も開催予定です。参加者からはこの先が気になる、早く見たいと好評だった DVD の続編です。

日程が決まりましたら、県南ブロックホームページでご案内します。皆さんこうご期待を！



今年も全国大会に参加してきました！

昨年に引き続き県南ブロックからも複数名が日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）に参加して来ました。盛岡市民文化ホール「マリオス」等を会場に、「共生社会の創造～参加と自立を実現する地域社会とは」というテーマで講演やシンポジウム、分科会が催されました。

グループで参加した人、現地で合流できた人、色んな方がいらしたと思います。現地では岩手の会員さんを始め、全国各地の会員さんと交流を深めることができました。

来年は鹿児島だそうです。今年参加したメンバーの一部はもう来年に向けて思案をめぐらせているよう・・・県外の会員さんとの交流を持てる絶好の機会ですので来年は皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか？



😊これからの予定😊

★ブロック会議及び懇親会★

9 月 28 日（土） 12 月 14 日（土）
1 月 25 日（土）

★こころみ学園収穫祭視察★

11 月 16 日（土）

★研修会★

年度内に、あと 2 回程度開催予定

『看取りの医者』でおなじみの平野国美先生の研修を企画中です。

※予定は変更になる場合があります。

詳細は決定次第、ホームページにてご案内します。

会員の皆さんのアイディア次第で活動の幅は広がり充実していきます！まずはお気軽に活動に顔を出してみてくださいね♪

★次回の県南ブロック会議予定★

9 月 28 日（土）18 時～
茨城県県南生涯学習センター 小講座室 1
詳細はホームページでお知らせします！

★ホームページをリニューアルしました★



以前よりご意見を頂いていたホームページにつきまして、事務局便りでもご案内したとおり完全リニューアルを行い内容を一新いたしました。

URLは変わらず <http://www.csw-iba.org/> のままです。当会開催の研修や講座、無料相談会の開催情報のほか、他団体からのお知らせ、求人情報等も掲載しております。当会開催の研修については、予定が確定したものからカレンダーに掲載し、受講予定が立てやすいよう先々までスケジュールを確認できるようにいたしました。

まだまだ工事中なページもございますが、少しずつ内容を充実させていきたいと考えております。会員専用ページもありますので、ぜひ交流等にご活用ください。なお、会員専用ページに入るためのID・パスワードがご不明な方は大変お手数ですが事務局までお問い合わせを頂けますようお願いいたします。



会員交流会を開催しました！ in 牛久シャトーバーベキューガーデン

8月17日(土)、牛久市にあるシャトーカミヤのバーベキューガーデンにおいて、会員交流会を開催しました。

当日は県南ブロックより15名の参加があり、はるばる県北ブロックより竹之内会長も参加してくださいました。

暑い夏の夜、地ビールを片手に乾杯！美味しいお肉を焼きながら、あれこれ会話は盛り上がり、参加者同士の交流を深めておりました。



第1回共通基盤研修を行います

既に郵送でお知らせしておりますとおり、10月12日(土)～13日(日)に共通基盤研修を実施いたします。

講師には名古屋市総合リハビリテーションセンター自立支援部長の鈴木智敦氏をお招きし、相談援助に関する講義及び演習を行って頂くほか、当会会員をシンポジストに福祉経営に関するシンポジウムも開催。もちろん、12日の夜には懇親会も予定しております。

会場は太子温泉「やみぞ」になりますので、日頃の疲れをりんご風呂で癒して頂くのも良いのではないのでしょうか？

参加申し込みは9月27日締め切りとなっております。詳細は9月6日付けの通知文又はホームページをご確認ください。

【編集後記】

大変お待たせしてしまいましたが今年度第1号の広報誌を発行することができました。

新年度に入り半年ほど、新たなスタートを切られた方もそろそろ職場に慣れてきた頃でしょうか？新入職員など社会福祉士を取得され、まだ社会福祉士会に入っていない方がお近くにおりましたらぜひ入会へのお声かけをお願いいたします。